



ベッドタイプのシティ派ベビーカー

で使用の前に必ずこの取扱説明 書をよくお読みの上、正しくお 使いください。また、開梱後も 大切に保存してください。





安全基準A型 (2カ月~2才まで)

VID	
次	●フルリクAのご使用にあたって1
	●フルリクAの特長
	●各部のなまえ2
	●組み立て方及び使い方3
	●組み立て方
	・ハンドルの高さの調整方法
	●日除け(幌)の使い方4
	●買物カゴの取り扱い方
	●リクライニングの使い方5
	・ハンドルの切り替え方
	・キャスターの使い方
	・ストッパーの使い方
	●折りたたみ方6

●その他の取り扱い方7
●セーフティガードの取り扱い方
●アームレストカバーの取り扱い方
●足のせの収納
●シートの取りはずし方8
・シートベルトの調整
● 足力バーの取り付け方(FH-439)
● フロントカバーの取り付け方(FH-389)
●ご使用上の注意9
●洗濯及び日常のお手入れ方法について
●品質保証書······10
• SGマークについて

(フルリクAのご使用にあたって

コンビの赤ちゃん工学より生まれた、「フルリクA」は、赤ちゃんの体の特徴、発育状況を、心身両面より研究し、開発されたベビーカーです。赤ちゃんのすこやかな成長とともに、ながくご愛用いただきますよう、お願い申しあげます。

フルリクAの特長

赤ちゃんのために

1) 居住性は?

- ●フルリクAは、おフトンのような柔らかシートで、 赤ちゃんにソフトな座りごこちです。
- 4 段階リクライニングで、ベッドに寝たのと同じ姿勢が保て、2 カ月の赤ちゃんにも安心です。

2) 快適性は?

- ●ハンドルの方向切り替えで、お母さんの顔を見たり、 外の風景を見たりできます。
- シートは、汗かきの赤ちゃんのために、綿100%の表 地を使用しました。
- ●シートは、簡単に取りはずして、水洗いできるため、 いつも清潔な状態で使用できます。
- ●大型幌が、風や太陽光線から赤ちゃんをしっかりと ガードします。
- ●FH-439の足カバーは、冷たい風や寒さから赤ちゃんをやさしくガードします。(FH-389はオプション)

3) 安全性は?

- ■コンビ独自のリンク式サスペンションで、悪路でも、 小さな赤ちゃんへの影響を極力少なくしました。
- ストッパーは確実性の高いダブルロック方式を採用しました。
- シートベルトは、赤ちゃんの成長に合わせて調整できるので、赤ちゃんを優しく、しっかりホールドします

お母さんのために

1) 操作性は?

- 開閉操作は、赤ちゃんを抱いたまま、つま先でワンタッチ。リクライニングは片手で簡単に操作できます。
- ●ハンドルの方向切り替え(背面・対面)が簡単にでき、 ハンドルの高さを身長に合わせて調整できます。
- ●FH-439には、赤ちゃんの乗せおろしがしやすい3点 式のシートベルトバックルを採用しました。

2) 移動には?

●キャスター機構の車輪により、方向転換がスムーズ にできます。

3) お買い物は?

- ジャンボサイズの買い物カゴで従来のお買い物の不便さを解消しました。
- お買い物を入れたまま、買い物カゴを取りはずして 持ち運びができます。

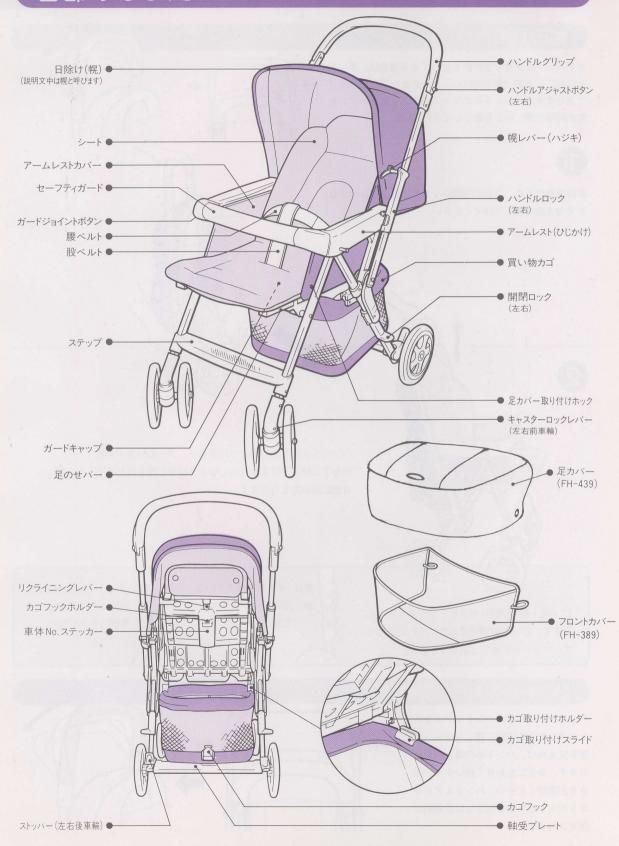
4) 収納性は?

- ●コンパクトに折りたため、自立しますので収納場所 をとりません。
- ●ハンドルを折り曲げればさらに低くなります。

5) お洗濯は?

●シートが簡単にはずれ、洗濯機で水洗いができます。 またアームレストカバーや幌も簡単に取りはずして ブラシ洗いができます。

各部のなまえ



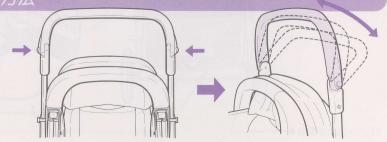
組み立て方及び使い方



ハンドルの高さの調整方法

す。ロックの状態にご注意ください。

ハンドルグリップのハンドルアジャストボタンを左右同時に押しながら、角度を変えれば、ハンドルの高さが変わります。身長に合わせて使いやすい高さをお選びください。ハンドルアジャストボタンから指をはなせば自動的に固定されます。



日除け(幌)の使い方

〔組み立て方〕

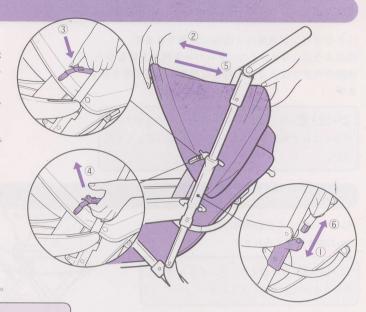
- ・ 幌の前後を確かめて (幌レバー (ハジキ) 側が前部)、ジョイント部分をしっかり差し込んでください。
- ②図のように幌の先端部、後部を持ってひろげてください。
- ③次に左右の幌レバー(ハジキ)の関節部を指で押し固定してください。

(幌のたたみ方)

- ④左右の幌レバー(ハジキ)の関節部の中央を下から押し上げてから
- 5幌をたたみます。

(幌をはずす場合)

⑥幌のジョイント部分を図のように真上に引き 抜いてください。幌をはずすことができます。



ご・注・意

ベビーカーを折りたたむときは必ず幌はたたんでください。

買い物カゴの取り扱い方

(買い物カゴのセッティング)

図のように、買い物カゴのA部を本体のB部にカチッと音がするまで完全に差し込んでください。

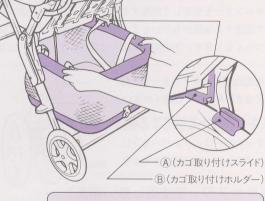
(買い物カゴを使用しないとき)

カゴフックを本体背部のカゴ フックホルダーにセットして ください。

(買い物カゴを取りはずすとき)

買い物カゴを開いた状態で

- ①カゴ枠の左右を交互に後方へ 強く引いてください。
- ② B 部のロックが解除されます ので、買い物カゴの両サイド を持って後に引き抜いてくだ さい。



ご・注・意

- ●買い物力ゴに角のとがった物を載せると メッシュの部分を傷つけることがありま すのでご注意ください。
- ●荷物を入れて持ち運ぶときは、必ず右図のように、付
- 属のベルトを持って運んでください。
- ●買い物カゴには10kg までの荷物を入れられますが、縦長の重量物を買い物カゴに載せる場合は、横にねかせてご使用ください。

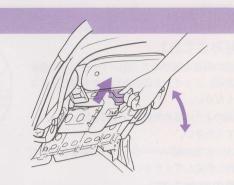


組み立て方及び使い方

リクライニングの使い方

リクライニング角度は4段階に調節できます。 図のように、リクライニングレバーを持ち上げながら、 背面の角度を変えます。適度な角度の位置で手を離し ます。

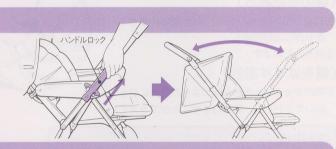
ご・注・意 ベビーカーを折りたたむ場合は必ず、リクライニング角度をいちばん立てた位置に戻してください。



ハンドルの切り替え方

ハンドルロックを左右同時に引き上げるとハンドルの向きが変えられます。

ご・注・意 切り替え後、ハンドルが確実に ロックされたか確認してください。



キャスターの使い方

方向転換がスムーズに行えるよう車輪の向きが変わる機構をキャスターといいます。

キャスターを固定して使用する場合には、ハンドルの方向(対面・背面)によって固定する位置がちがいます。固定する位置を間違えて使用しますと大変押しづらくなります。下の説明をよくご理解の上、正しい位置でご使用ください。



対面位置ではキャスター走行は できませんのでご注意ください。

(キャスターを使用する場合) 固定 キャスターロックレバーを下に

さげるとロックが解除されます。 解除



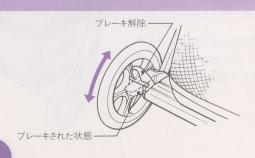
〔キャスターを使用しない場合〕

キャスターロックレバーのロックを解除した状態で、キャスター部をわずかに横に動かした後、進行方向に前進させると自然にキャスターは正しい位置になります。この位置で固定してください。



ストッパーの使い方

ベビーカーから離れるときは必ずブレーキをかけてください。後車輪内側左右のストッパーを下に倒した後ベビーカーを前後に軽く動かしてブレーキが正しくかかっているか確認してください。



折りたたみ方

1

シートがリクライニング位置にある場合は、背をいちばん立てた位置に戻してください。

2

A左右の幌レバー(ハジキ)の関節部の中央を下から押し上げてからB幌をたたみます。

3

買い物カゴを本体背面の位置に戻してください。

4

ハンドルを背面位置にしてください。 ハンドルグリップが折り曲げてある場合は まっすぐに起こします。



左右のキャスターロックレバーを背面時の正しい位置でロックしてください。

を、カチッと音がするまでつま 先で押し下げてください。



(2)(B)

ハンドルを前方向に軽く持ち上げるようにしながら、前

ロックする

背面位置

立てる

フックをかける



8

必要に応じて、ハンドルグリップを折り曲げれば、さら に低くコンパクトになります。

その他の取り扱い方

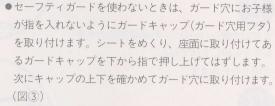
セーフティガードの取り扱い方

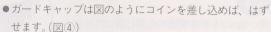
(取り付け方)

セーフティガード正面の《C●MBI●●●》マークの上下を確かめて、アームレスト(ひじかけ)のガード穴にカチッと音がするまで押し込みます。左右とも確実にセットされたか、ひっぱってチェックしてください。

(はずし方)

- ①図のように、アームレスト (ひじかけ) の下側にある ガードジョイントボタンを上に押し上げながら、
- ②セーフティガードを片側づつ引き抜いてはずしてください。











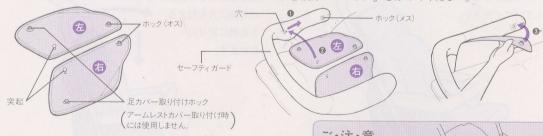


ご・注・意 セーフティガードに過度の力を加えないでください。故障、破損の原因となります。

アームレストカバーの取り扱い方

〔取り付け方〕

リクライニングをいちばん倒した角度にして、アームレストカバーの左右を確認し、①白い「突起」をアームレスト(ひじかけ)内側前部の穴に差し込み、②後ろに水平にスライドさせ、③後部の「ホック」をはめてください。



(はずし方)

アームレストカバーをはずす場合は、①ホックをはずし、②アームレストカバーを前方にスライドさせるとはずせます。



ご・注・意

アームレストカバーをは ずしたまま、赤ちゃんを ベビーカーに乗せること は危険ですのでおやめく ださい。



足のせの収納

足のせを使わないときは図のようにシートのホックをはずし、 足のせバーを座の中に押し込んでください。足のせを使用 する場合は、カチッと音がするまで強く引き出してください。

ご・注・意 足のせを使用する場合は足のせバーがき ちんとセットされているか確認してください。



シートの取りはずし方

図のようにフルリクライニング状態にして、シートの左右3ヵ所ずつのホックをはずしてください。 次にシートを真上に引き抜くと、シートが本体よりはずれます。

ご・注・意 シートを本体にセットする場合、ホックを確実にかけたかチェックしてください。



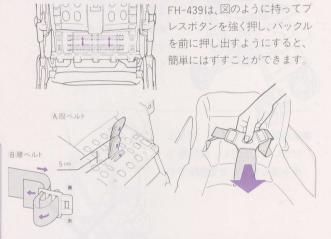
シートベルト(股ベルト・腰ベルト)の調整

シートベルトの長さは、赤ちゃんの成長に合わせて調整できます。

腰ベルトは、右図のように本体背部のベルト穴位置を移 動できます。

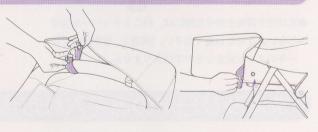
万一、股ベルトをはずした場合や、腰ベルトから差し込みバックルをはずした場合は、図ABのように確実にセットしてください。

ご・注・意 股ベルトは、端末まで5cm以上余裕を持って、図 のようにセットしてください。赤ちゃんは1才前後から活発に動くようになります。赤ちゃんを適切にホールドするために、ベルトは大人の親指が入る程度のすき間を残し、しっかりと締めてください。



足力バーの取り扱い方(FH-439)

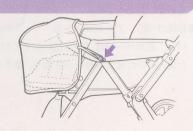
- ①足のせを引き出し、シートのホックをセットしてください。
- ②図のように足カバーの内側左右にあるベルトをセーフ ティガードの下側からまきつけ、ホックで止めてください。
- ③足カバー両側面のホックを左右のアームレストカバー に止めてください。
- ④足カバーの底面は足のせの下側になるようセットして ください。



ご・注・意 足カバーを取り付けた状態で折りたたむ際は、ハンドルグリップを折り曲げないようにしてください。長時間放置すると足カバーが変形することがあります。

フロントカバーの取り付け方(FH-389)

- ■図のように両側面のゴムベルトをピンにかけてください。
- ●フロントカバーの底面は足のせの下側になるようセットしてください。
- ●フロントカバーの代わりに別売の足カバーFF型を取り付けることもできます。
- ●フロントカバーにセーフティガードや日除けの色が移ることがありますが、 品質上問題はありません。

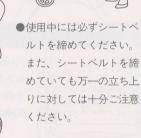


ご使用上の注意(このベビーカーはSG基準A型に適合した一人乗り用です。)

●使用してよい乳幼児の年令……生後2ヵ月以上満2才まで 連続使用時間……………2時間以内が望ましい。

●ご使用になる場合は、折りたたみ構造の止め金具などがしっかりかかっているか(完全に開いた状態であるか)を、

ハンドルを上下させ て確認してからご 使用ください。



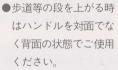
●乳幼児を乗せたまま、持ち上 げないでください。階段等で 手を滑らせると大変危険です。



●乳幼児や荷物を乗せた時には、特にストッパーを過信 しないようにご注意ください。(構造上、自動車のブレ ーキのような安全なものではありません。) ■二人以上の乳幼児を同時に乗せたり、シート以外のところに乗せないでください。また乳幼児をベビーカーの中で立たせないでください。



●乳幼児を乗せている時、 買い物カゴ以外のところ に荷物を乗せたり、つる したりしないでください。





- ●ご使用中ハンドルによりかかったり、過度の荷重をかけると、転倒するおそれがありますので、十分にご注意ください。
- ●路上に駐停車する時、乳幼児は絶対に置き去りにしないでください。また空車であっても坂の途中、車道に近い歩道など、危険な場所に放置しないでください。

洗濯及び日常のお手入れ方法について

●シートは、洗濯機で丸洗いできます。 水流調整を鰯にセットして、 通常の洗剤を使用してくださ

通常の洗剤を使用してください。脱水した後、日陰で平干ししてください。漂白剤は使用しないでください。

(A) (D) (MA)

●日除け(幌)、アームレストカ バー、足カバー等はブラシ洗いしてください。水洗いし た後、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。

- ●骨組みフレームに汚れがついたときは洗剤またはぬれた 布でほこりや汚れを落し、乾いた布で仕上げてください。
- ●車輪についた泥は、必ずふき取ってください。
- ●古くなって注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油を 少量お使いください。食用油はほこりがつきやすく、か えって機能を低下させます。またキャスター部分への注 油はおやめください。
- ●湿気をおびたまま放置しますと、カビがはえることがあります。乾いた布でふいた後、乾かして湿気をとるように心がけましょう。